

別冊 HOHOEmi*

病院？施設？やっぱり自宅？…在宅療養の話しよう



「これからの訪問看護に期待されるもの」

今年4月に介護保険制度の大きな改定がありました。いつも訪問している看護師に、施設で看護してもらって、いつでも在宅で過ごせる訪問看護は、医療依存度の高い療養者様には、朗報でした。また、今までは認められなかった、グループホーム、特別養護老人施設にも、条件が満たされれば、訪問看護を利用できるようにになりました。これは、訪問看護を多機能化し、より多くの療養者が安心して在宅で暮らせるようにという、国の考えの表れでもあります。つまり、病院は、治療を行なう場であり、療養は地域で、という事です。こういった現状の中、ひまわりでもより多くのご利用者様の要望に答える必要があると考えます。その為には、スタッフの数や、業務の効率化を図る必要があります。多機能化を目指す時に小人数では限界があります。小さなステーションは小さく、大きなステーションはより大きくといった傾向が予測されます。そういった事を考え、今回、長沢ひまわりと生田ひまわりは、合併しハイアプさせる事となりました。地域の方々が、安心して療養できるように、これからも努めてまいります。



Greetings

開所して十年目という節目の年に生田ひまわりと合併し新たなスタートを切る事になり、とても感慨深く感じています。ご利用者様をはじめ地域の先生方や各関係者の皆様を支えられてここまで続けていくことができ、心よりお礼を申し上げます。

今年4月、介護保険・医療保険ともに制度改正があり国の在宅療養への期待はますます高まっています。その一方で家族構成は変化し親ひとり子ひとりの高齢者世帯や独居生活の方が増えており家族の力だけでは在宅生活を支えていくのは難しい時代となっています。私達長沢ひまわりは十年の経験を生かし、地域で活躍する医療のプロとして皆様安心して在宅生活を送っていただけるようサポートしたいと考えております。どうぞこれからも長沢ひまわりをよろしくお願ひ致します。

所長 鈴木美奈子

医療保険、介護保険の改定が続き、医療依存度の高い在宅療養者の方が増えているのが実感される今日この頃です。緊急連絡訪問で訪問し、とても安心したと言っておられるご利用者様。母の時間にお世話になったから私もお願いしたい、親子、ご夫婦でご利用して下さる方。こちらも感謝の気持ちで一杯になります。

今回統合するにあたり、今までそれぞれのステーションで培ってきたノウハウをさらに高め、時代の求める訪問看護を提供できる、ひまわりにしていきたいと思っています。

副所長 坂井恵



長期の入院生活なんて考えられない！

ひまわりで安心な暮らし。

訪問看護ステーション ひまわりの足跡

腎が入ったまま、機械がついたままでの自宅に帰る事ができますか？

どいまでできるの？訪問看護

やがてくる

私と、家族の老いのために

訪問看護の役割とは？

介護に休息を！

現場で起きている問題をかたちに

どいまでできるの？

ひまわりのこだわり

長沢ひまわり
生田ひまわり
合併特別企画

Information

日本訪問看護振興財団より、人工呼吸器装着者の在宅ケア「安心して療養できる環境をめざして」のビデオの中で、ひまわりの取組が紹介されています。

別冊 HOHOEmi 2006.7.1
写真・文・編集/訪問看護 ST 鶴川ひまわり
坂本 由恵

本誌記事・写真の無断転載を禁じます
copyright 医療法人社団三医会

訪問看護 ST 鶴川ひまわり
〒195-0055
町田市三輪町 168-1
三輪診療所内

TEL 044-987-6969
FAX 044-987-2323

所長 坂本 由恵
<http://www.tsurukawakousei.or.jp>

訪問看護 ST 長沢ひまわり
〒214-0035
川崎市多摩区長沢 1-27-6
第五松沢マンション 104号

TEL 044-977-9674
FAX 044-977-0674

所長 鈴木 美奈子
副所長 坂井 恵

人は、この世に生まれ、そして必ず最期の時を迎える
 老いても、病んでも自宅で暮らす。その願いを叶えたい



安心をお手伝い 訪問看護ステーションひまわり特集



こんにちは、ひまわりです

平成9年5月、川崎市多摩区に、初めての訪問看護ステーションとして、長沢ひまわりが、2DKのマンションの一室で産声をあげました。常勤看護師3名で、開設当初から、24時間連絡体制をとり、終末を自宅で迎える方の看護を積極的に行ってまいりました。お陰様で、ご利用者様も一年後には、100名を越えるまでに急成長し、翌年には法人2番目のステーションとして、生田ひまわりを開設、その翌年には、念願の町田市に、鶴川ひまわりを開設する事ができました。3箇所のステーションが、教の長沢・小児の生田・ハイテクケアの鶴川と、それぞれ強みを武器に、よいライバル関係の中で、成長して行くことができました。

ひまわりでは、同法人で、在宅診療を行なっている事と、多くの在宅診療をされている、開業医の先生方のご協力もあり、自宅で最期を迎えたいと願う方の、望みを叶える事ができました。ある時、ホスピスのドクターから「余命1、2週間の患者さんが、自宅で最期を迎えたいので今日退院させたい。入院前に来てもらって訪問看護ステーションは、忙しいから訪問出来ないかと断られてしまった。ひまわりさんで訪問してもらえないか？」との電話がありました。私たちも、連日目一杯の訪問でしたが、何とかその望みを叶えなければと、時間を造り、ホスピスに向かいました。病室で対面した本人は、余命1、2週間どころか、今にも息をひきとりそうな状態でした。担当の看護師さんから、病状や、

美しく枯れゆくために...

こんな花屋さんがあります。花を買って頂いた後、その花が、枯れてしまうまでを覚えて売るポリシーを持っている花屋さん。私達はご利用者様は、病状が改善していく方ばかりではなく、病状の改善の見込みがなく、最期の時を迎える方も多くいらっしゃいます。そんな時、痛みを我慢しながら、床ずれ等で、体に傷を負ったまま、最期を迎える事の無い様、美しくその方の人生を枯らせたい。それが、ひまわりが考える終末期看護のイズムなのです。

専門性の高い看護を！

この一〇年近くで、ご利用者様の意識も、大分変化してきました。最初は、看護師が来てくれるだけで、「安心」という意識から、介護保険もスタート、契約関係の中で、訪問看護を利用する事での結果を求められる時代が変わってきました。また、訪問看護ステーション自体の数も増え、ご利用者様は、よりよいステーションを選択出来る時代になってきています。つまり、より価値の高い看護を提供する必要があるのです。

ひまわりでは、開所間もなく看護師だけでなく、理学療法士・作業療法士による、リハビリ目的での訪問を開始しました。障害が残ったまま、在宅に居られた方が、生活しやすい環境を整える為に、住環境の評価をし、ベッドの配置から、手摺などのアドバイスをほし、その方にあたりハビリプログラムを作成しています。また、今年4月から言語聴覚士による訪問も認められ、順次対応できるように計画しております。

同法人では、積極的に在宅医療を行なっている事もあり、開所当初から、医療機器をつけたまま、在宅療養されるご利用者様が、大勢いらっしゃいました。特に在宅酸素療法をされている方は、多いときは、1ステーションに100名以上在籍しています。そんな中、より質の高い看護を提供する

人工呼吸器装着利用者数

	延べ利用者数	現在利用者数
長沢	3名	0名
生田	4名	0名
鶴川	7名	4名

*2006年5月31日現在

延べ利用者数 延件数 在宅看取り数

長沢	647名	52113件	81名
生田	482名	30831件	28名
鶴川	462名	27664件	35名

*2006年5月31日現在

事は出来ないかと考え、その手段として、昨年、三学会合同呼吸療法認定士の資格を取得した看護師2名、理学療法士1名が誕生しました。そして、今年度は、認知症の知識を深める為に、認知症ケア専門士の資格試験にトライしました。また、昨年度からは、訪問看護認定看護師が誕生しており、ひまわりでも、より高い専門性を身につける為にも、それぞれ分野での知識を深めていきたいと思います。

ひまわりから発信

医療依存度の高いご利用者様を、多く訪問している中で、在宅療養を断念するケースもありました。介護者が少ない上に、24時間介護者がそばを離れない拘束された状態での療養環境。結果として、介護に限界がきて、1ヶ月も自宅で過ごす事ができず、入院。再び自宅に戻る事はありませんでした。介護保険が開始し、同じ要介護5の方でも、医療機器を使用していないご利用者様は、デイサービス・ショートステイなどサービスを選択する事ができるのですが、医療機器を使用している利用者様は、受け入れてくれる施設がなく、選べるサービスが無いのです。しかし、そういう利用者様の介護者は、24時間休み無く介護を強いられ、介護負担も大きいのです。

そういった現状を、目の当たりにするうちに、何とか利用出来るサービスがつかれないか？と考えている中で、平成14年デイサービス三輪ひまわりを開所する事ができ、同時に24時間人工呼吸器を装着しているご利用者様を受け入れる体制を整えました。デイサービス開所から丸4年、まだまだ改善点がありますが、ひとつひとつ解決しながら、カタチにしていきたいと考えています。

薬の申し送りやうけ、ご家族に、訪問予定や、緊急時の連絡などを伝え、ステーションに戻りました。その後、その方は無事退院され、翌日早朝にご家族に見守られながら、自宅で最期を迎えることができました。

三医会と在宅サービスの歴史

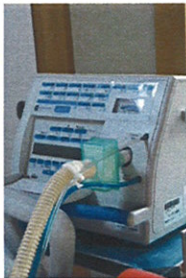
- ・1990年 訪問診療・訪問看護開始
 - ・1997年 訪問看護ステーション長沢ひまわり開所
 - ・1998年 訪問看護ステーション生田ひまわり開所
 - ・1999年 訪問看護ステーション鶴川ひまわり開所
 - ・2000年 ヘルパーステーションひまわり開所
- 各訪問看護ステーションに
 居宅支援事業所併設
- ・2002年 デイサービスひまわり開所



使用する聴診器は
 リットマンブランド
 正確な聴診を心がけます



人工呼吸器LTV950



人工呼吸器アチーバ



高カロリー輸液のための、在宅輸液ポンプ



在宅酸素濃縮器